



(導水路にある水門のようす)



(長井坂分水装置のようす)

一九三九年（昭和十四年）に完成しました。この昭和のはじめごろは、ふきようで村人の多くはこの工事で働き、お金を得ようと思いました。また、この工事によせる村の人々のねがいも、大きかったといわれています。

（また雨でがっかりした。七時からため池工事のすずめる運動のいみでおねがいをした人夫百五十名は村社に集まり、二十名の代表者をえらんで村長さんにねがい出たということです。）「玉井の鈴木吉成日記」

この工事で、玉井の水田四百七十六ヘクタールと本宮町二百三十四ヘクタールの水田に、水をかんがいするこ
とができるようになりました。

また、本宮町の蛇の鼻の用水池利用組合も、この三ツ
森池の水を利用することになりました。

このころ村には、ため池が多く、人々がいかに水のた
めに苦労したかがわかります。